

令和 6 年（2024 年）度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：茨城県常総市

協定締結日：平成 2 年 12 月 23 日

活動状況：継続中

連携先窓口：茨城県 常総市 産業振興部 農業政策課 アグリビジネス推進係

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：国際食料情報学部（食料環境経済学科）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：野口敬夫（国際食料情報学部）、大浦裕二（国際食料情報学部）

菊島良介（国際食料情報学部）、中窪啓介（国際食料情報学部）

活動目的：

1. 「常総市アグリサイエンスバレー」事業に関わる事項
2. 市の特産物のブランディング等の農業及び関連産業の活性化に向けた事項
3. 人材育成に関わる事項
4. その他両者の協議により必要と認める事項

活動内容・成果：

1. アグリサイエンスバレー常総視察

東京農業大学の教員・学生による視察を実施した。詳細は以下のとおりである。

- 実施日：令和 6 年 11 月 19 日（火）
- 参加者：東京農業大学 国際食料情報学部・食料環境経済学科 合計 42 名
 - ・教員 2 名
 - 野口敬夫 教授（産学官・地域連携センター・副センター長）
 - 中窪啓介 助教
 - ・学生 40 名（1 年生）
- 調査・視察先
 - ・ヴィータ農園 …講話、トウモロコシの実証圃場視察
 - ・グランベリー大地 …講話、栽培・選果施設、加工販売施設（カフェ）視察
 - ・アグリサイエンスバレー常総、道の駅常総…講話、道の駅常総・直売所視察

●調査・視察風景



ヴィータ農園の視察



グランベリー大地の視察



アグリサイエンスバレーに関する講話



常総市役所での意見交換会

2. 道の駅常総「いなほ食堂」における学生のメニュー開発

2023年度は、食料環境経済学科の学生団体「もぐもぐプロジェクト」が道の駅常総を運営する㈱TTCと連携し、道の駅常総のレストラン「いなほ食堂」で地域の特産物を利用した新たなメニュー開発に取り組み、「茨城モリモリ定食」をリリースした。この取り組みは2024年度も継続され、新たな学生メンバーが多数参加して第2弾となる新たなメニューを検討した。

学生と㈱TTCが協議して売上・利益目標、粗利、原価、販促予算、スケジュールなどを決定した後、学生がコンセプトとメニューを考案した。



茨城MAXラーメン

(学生がデザインしたメニューのビジュアルイメージ)



常陸牛の肉豆腐

2025年1月17日には、道の駅常総の視察および試食会を行い、「とろとろ肉豆腐いなほ定食」「いなほのおやこ丼」「いなほ・え・び・風呂ラーメン」の3品が採用された。



道の駅常総における試食会の風景 (2025. 1. 17)



ポスター（2025年2月13日リリース）

3. 道の駅に対する生産者ニーズの分析

研究面での連携として、道の駅の出荷者・非出荷者に対するアンケート分析を実施した。道の駅常総への出荷に関する生産者のニーズや、道の駅常総を含む「アグリサイエンスバレー常総」への要望を把握することを目的とし、東京農業大学との今後の連携にも活用する。本アンケートでは、主に下記について調査した。

- ・出荷先、出荷意欲・労働負担の意識
- ・道の駅常総の活用状況、出荷している理由、出荷していない理由
- ・道の駅常総やアグリサイエンスバレー事業が、農業経営や地域農業全体に与えたと感じる影響
- ・道の駅常総やアグリサイエンスバレー事業への要望
- ・農産物直売所に農産物を出荷する際に重視する要因

＊アンケート調査（配布・回収）は2025年3月上旬～下旬に実施、配布対象は道の駅常総の市内出荷者および常総市認定農業者。次年度にアンケート調査の分析を行う予定。担当は食料環境経済学科・消費行動研究室の菊島良介准教授。

4. 6次産業化推進拠点施設基本計画策定業務の実施協力

常総市・6次産業化推進拠点施設基本計画策定業務については、下記4回の庁内検討委員会で新たな6次産業化推進拠点施設が検討され、最終基本計画が取り纏められた。本業務には東京農業大学・食料環境経済学科・教授の野口敬夫がアドバイザーとして参加した。

常総市 6次産業化推進拠点施設基本計画策定業務

- ・第1回 庁内検討委員会 令和6年7月25日（木）
- ・第2回 庁内検討委員会 令和6年9月27日（金）
- ・第3回 庁内検討委員会 令和7年3月4日（火）
- ・第4回 庁内検討委員会 令和7年3月18日（火）

5. 国土交通省の道の駅と大学連携事業への参加

国土交通省・中国地方整備局道路部交通対策課は、2015年度から道の駅と大学の連携に関する事業を実施しているが、2024年度は大学連携の優良事例に関する①セミナーの開催、②取り組み事例集の取りまとめを行う（受託企業：株式会社オリエンタルコンサルタンツ）。同事業は、全国の優れた連携策及び新たな提案などの活動状況を発信し、多くの関係者と情報共有することで道の駅の継続的な活性化につなげることを目的としている。

道の駅常総と本学・食料環境経済学科の「もぐもぐProject」の取り組みは、本セミナーで発表され、取組事例集に掲載される予定である。

※国土交通省主催

「道の駅×大学 連携事例発表会 一産官学連携で地域課題解決へー」

全国各地から集まった13大学（本学のほか、愛知大学、愛媛大学、香川大学、金沢星

稜大学、近畿大学、城西国際大学、拓殖大学、千葉商科大学、長野大学、函館大学、広島経済大学、立命館大学（五十音順）がそれぞれ道の駅との連携事例について活動を報告（2025年3月12日開催）



もぐもぐProjectの発表会参加メンバー



会場のディスプレイ

課題・改善点：

道の駅の出荷者・非出荷者に対するアンケート分析を実施する。アンケートの分析結果は、道の駅常総を含む「アグリサイエンスバレー常総」における事業、東京農業大学との今後の事業連携の検討に活用する。